

ルール6：孤独なスケベ野郎は、出会いを求め『3つのイロハ』を学べ！！

Kです、

「出会いがない…。」が
あなたの口癖になっていませんか？

・・・

いきなりですが！！

ウブな童貞だった頃の僕が
毎日1人で、ボヤいていた…

『口癖』

を、

あなたに、2つ紹介します。

1：出会いが欲しいなあ…

2：彼女が欲しいなあ…

と。

当時の僕は・・・

シケた面で、ため息を吐き出しながら
『上の口』から叶いそうにない欲望を
ブツブツ漏らしていました。

そして…

若さを主張する『下の口』からは
ヒマを見つけてはザーメン放出を
1日に何度も繰り返していました。

完全に『オス』としては、出来損ない…

惨めで、寂しい日々を…

まるで、過酷な罰ゲームを
強制させられているかのように
生きていた時期がありました。

そう。

なんで、アイツに可愛い彼女ができて オレには彼女が1人もできねえんだよ

もう、正直ね…。

全然、意味が分かりませんでしたよ。

だって、そうでしょ！！

なんか『イライラ』を乗り越えて
女とイチャついている奴ら、全員ブツ殺してやりてえ……………までは、

さすがの僕も
そこまで物騒な考えは、持ち合わせていませんでしたけど…

世の中の『リア充』カップルなんて 全員、死んじまえばいいんだ…

くらいには、(少し)感じていました。

で、

結局・・・

「じゃ、オレは、一体、どうすりゃいいんだよ…」

そう、

どうやって『彼女』を作ればいいのか？
当時は、検討もつかなかった…

です。

それこそ、

周りの連中は、涼しい顔しながら
次々に彼女を作って『童貞を卒業』していく中で…

俺だけ1人ボッチ置き去りにされてく
童貞を乗り越えて、魔法使いつてか？

バカにするなよ？

だけど、そんな気持ちのウラ側では
どうしても消え去らない『不安』が
ブクブクと膨れ上がっていく。

で、

あんまり『こういう話』は、基本的にしないのですが・・・

コレを今、読んでくれている
あなただけには正直に『白状』します

...

サラサラした髪からは
女のそそる匂いがする。

色気が悩ましい、オンナの体。

- ・キス
- ・SEX
- ・デート

何1つ経験したことがない…

そんな自分が、大っ嫌いでした。

画面越しに眺めるエロスでしか
『イッた』ことがなかった当時。

本当は・・・

もっと…

ドロドロとした生々しい
女のエロスを五感で味わいたかった。

『ナマ』の女を知らなかった当時の僕は、

「もしかしたらオレには
一生、彼女ができないんじゃないか…

オレは童貞のまま死ぬかもしれない…

ああ、出会いが欲しい…

ああ、彼女が欲しい…

「だけど、どうすりゃいいんだよ…」

と。

得体の知れない重圧に
裸の心がブツ潰される息苦しい感覚を
毎日1人でずっしりと感じていました

今でも鮮明に当時の感情を
カラダが記憶しています。

では。

綺麗事ナシで『本音』を言います。

当時の僕には、2つの気持ちがあったのですが『2番目』から話します。

2番は、女とSEXがしたかった。

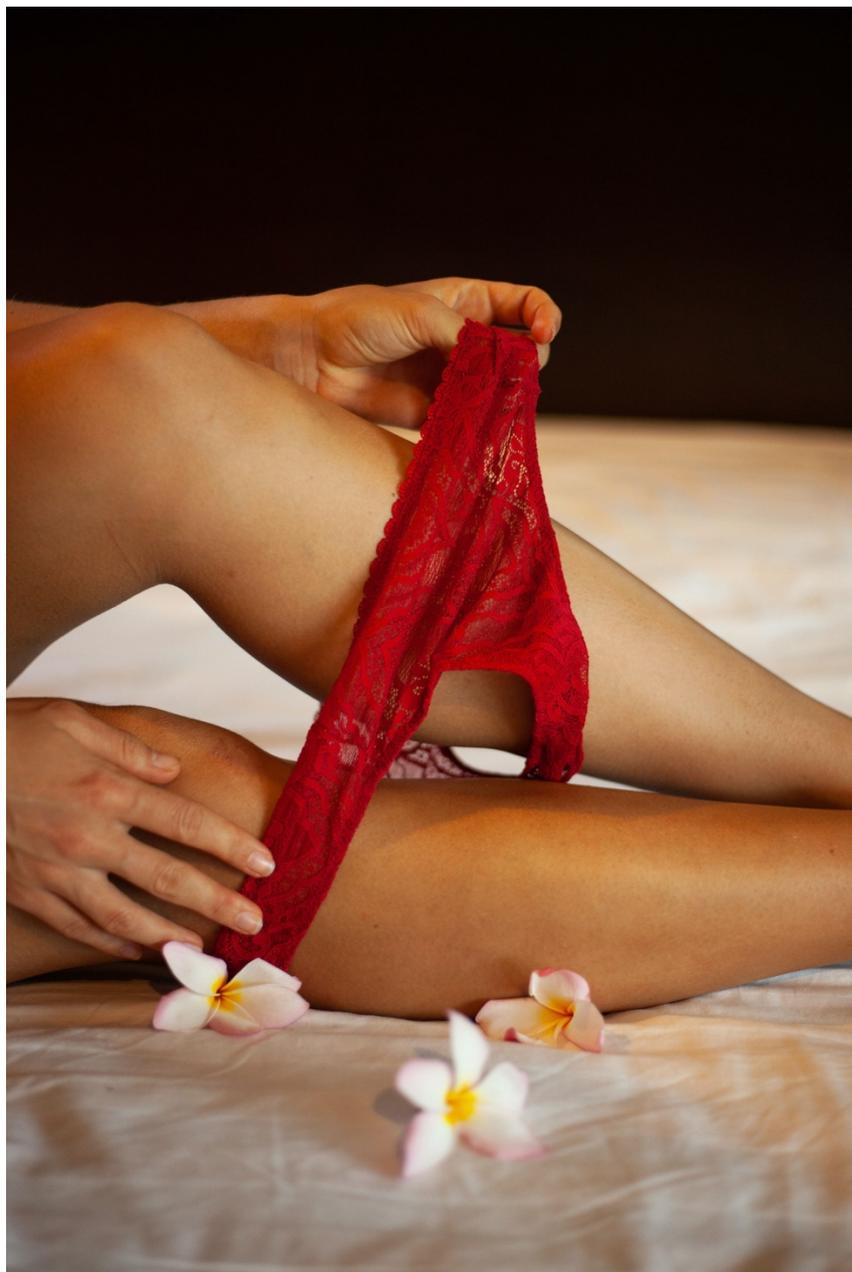
正直、相手が『オンナ』であれば・・・

「誰でもよかった」

というのが、当時の『ホンネ』です。

幼稚だったピンク色のイチモツを

オシツの温かいであろウ穴のナカに
思ウ存分『抜き差し』してみたかった



- ・うつ伏せになってSEXのマネ事をしながら
自前の肉棒を布団に、こすりつけるのでもなく…

・湯船に浸かりながら射精してみたり…

手を使わないでシャワーの水圧だけで ザーメンを出してみるでもなく…

- ・イトーヨーカドーのトイレの個室にこもって
普段とは違う興奮を感じながらオナニーしてみるでもなく…
- ・少しドキドキしながら薬局でコンドームを買って
部屋で孤独に、ゴムを装着してみるでもなく…
- ・周りの目を気にしながらドンキホーテに行って
手に入れたオナホを試してみるのでもなく…

とにかく当時は・・・

オナナとSEXがしたかった。

もちろん、自分1人で、

『オナニー研究』に没頭する

のも、

それは、それで楽しい作業だった
と思いますが…

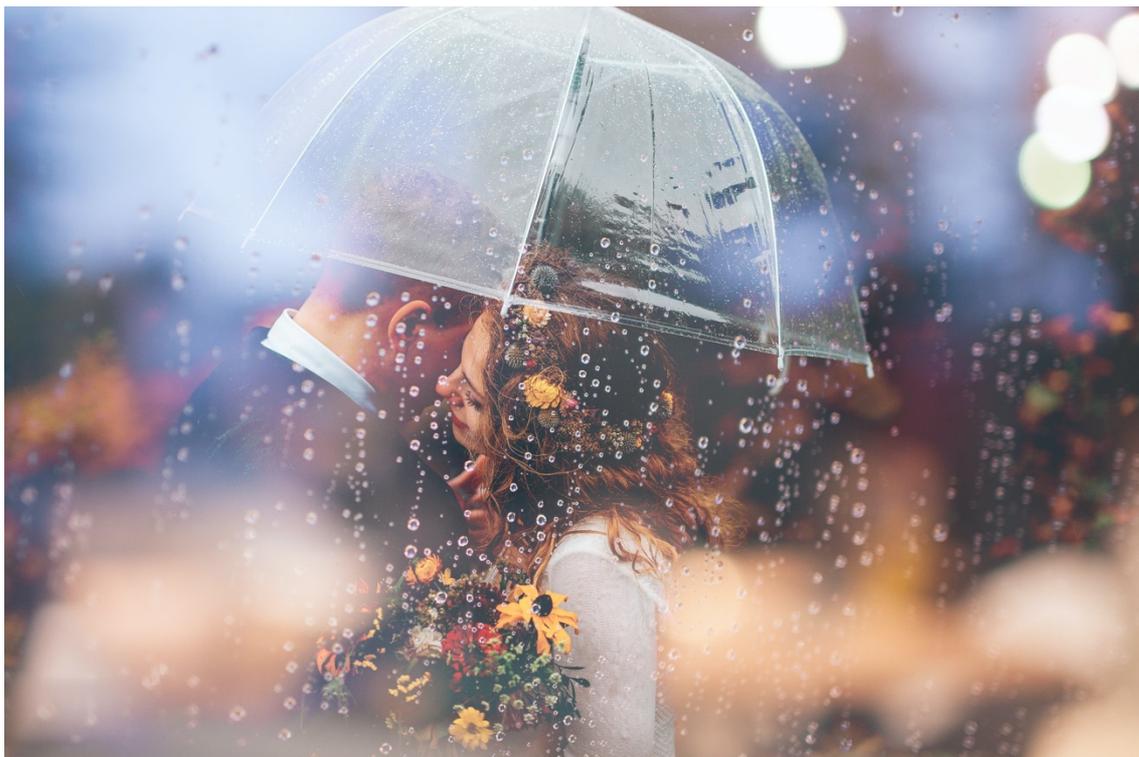
やっぱり

1人ボッチほど寂しいモンは、ありませんよね？

『性欲』はケダモノ級のモンスター童貞 だけど『性格』は臆病者ビビり屋ボーイ

そして1番は、ホント素直な気持ちで・・・

大好きになった女性に尽くしたかった
『誰かのために』人生を生きたかった



自分1人のためじゃなくて
心の底から大切に思える女性のために
生きてみたかった

・・・

…えっ!?

なんか意外…、だって??

確かに。

いつも下品な『下ネタ』が多いので…

もしかしたら今、あなたは
そんな風を感じたかもしれません。

(※自分で言うのはちょっとアレですが、僕は、かなりマトモな男です。)

そう。

ラブストーリー映画なんて見た日には
本当に、困っちゃうんですよね…

「オレも、あんな恋愛がしたいなあ…」

この『ドキドキ』を、俺は、一体、どこへ、ブツけてやりゃいいのやら……

フツーに『恋』をしたかった。

ありふれた
いわゆる『幸せ』ってヤツを
自分も経験したかった。

ザックリと、こんな感じ。

これが童貞時代の僕でした。

さて。

今のあなたは
どんな毎日を送っていますか？

そう、僕の話なんか、今は、どーでもいいのです。

あなたは

『恋愛』を楽しんでいるでしょうか？

それとも・・・

昔の僕と同じように『恋愛』で苦しみ
地獄の釜の底を生えずり回る気分で
毎日を必死にやり過ごしていますか？

・・・

どうでしょうか？

たった今、

パソコン画面の Word と向き合いながら
キーボードを必死にカタカタ打っている
僕には…

いくら自慢の妄想力を
フル稼働させても、

今の『あなた』が置かれている状況を
具体的に知ることが、当然できません…

が！！

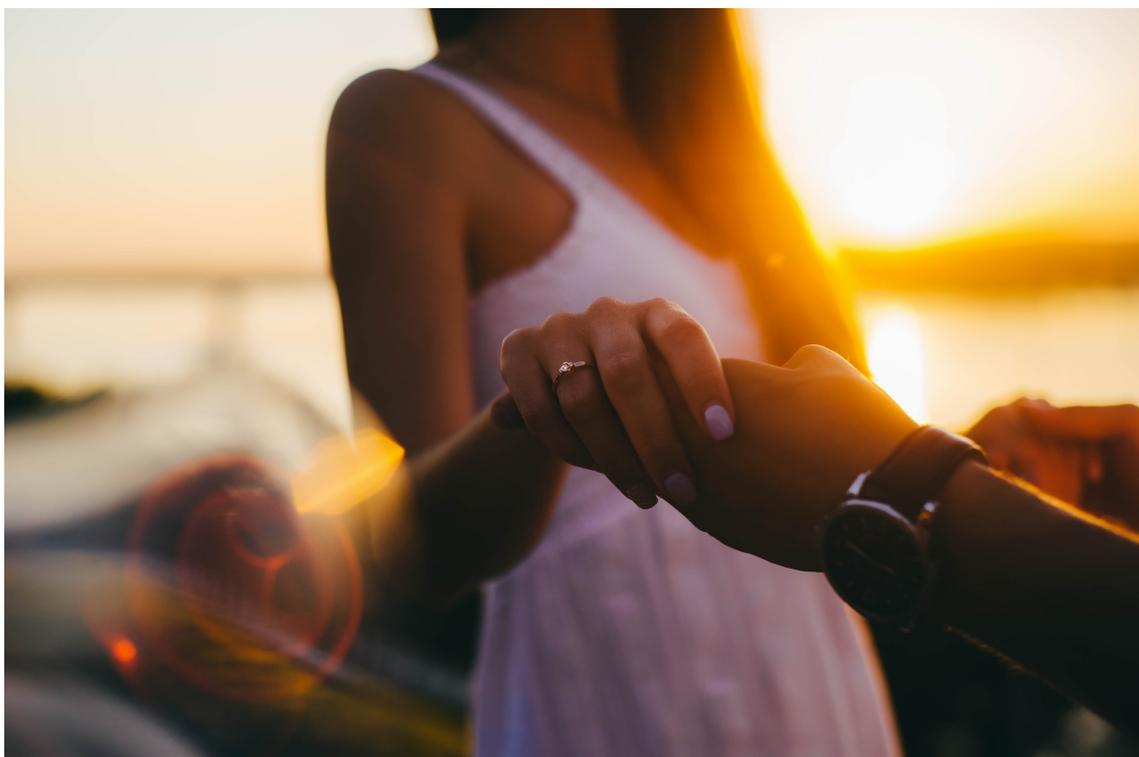
あなたに『1つ』だけ
言えることがあります。

それは・・・

近い将来、あなたの彼女さんになる 脈アリ女性と運命的に『出会う』方法

を、

今からお伝えする、というコト。



きっと、

今あなたが、この文字を
読んでいるということは…

少なくとも女性との出会いで
何かしらの問題を抱えている
と思います。

つまり・・・

このマニュアルの内容が、どうであれ…

結果的に。

あなたは、自分の『彼女さん』となる
女性と出会えばいいワケ、ですよ？

．．．

OK です。

今回の内容さえ
あなたがマスターしてしまえば、

あなたは死ぬまで女性との『出会い』で
迷う時間が1秒たりとも無くなる

のですが…

そうは言っても。

今あなたが抱えている不安は
僕も散々、感じてきました。

なので、

あなたが今、

心にチクチク感じている激痛は
ウンザリするほど分かっている
つもりです。

だけど、安心して下さい。

コレを最後のページまで読み終えた時 あなたは『ステキな女性』と出会う

この1点のみが、大事なコト。

なので・・・

大事な部分を
みすみす逃すことがないように
じっくり読み進めていって下さい。

ポルノ動画好きの孤独なスケベ野郎が 運命のオンナと出会った究極の真髓

です。

では！！

まず最初に『大前提』を話します。

よく、世間一般の恋愛では・・・

- ・脈が『ある』女性
- ・脈が『ない』女性

そんな表現をします、よね？

きっと、あなたも一度くらいは
『脈(ミヤク)』という言葉を使ったことがある
と思います…

が！！

『脈』と言われても・・・

どこか『モヤモヤ』していて
なんだか『曖昧』ですよね…。

っていうか。

そもそも『脈(ミヤク)』って何ですか？

・・・

「うーん、見込みがあるってこと、かなあ…」
「オレのことを、好きになってくれる女性かなあ…」

そう、

イマイチ、ピンと来ない、ですよね？

当たり前ですが、そんな状態じゃ
『脈アリな女性』と出会えても…

あなたは、女性とのステキな出会いに気づかず
目の前をサーっと『素通り』にしてしまいます。

それじゃ・・・

ステキな『恋のチャンス』を
みすみす逃すマヌケ男になってしまう

のです。

話になりません。

チャンスの野郎がノコノコ来たら
奴のクビ根っこ掴んで離さねえぞ！！

と、

少なくとも
これくらいの『ハート』が必要です。

では。

脈とは何か？

答えを言います。

今後、あなたが狙うべき女性は、

すでに『感情的』に
付き合う準備ができている女性

です。

すでに感情的に『恋愛をする』準備ができている女性
すでに感情的に『あなたと付き合う』準備ができている女性

こんな女性のことを、

『脈アリな女性』

と、呼びます。

それこそ・・・

彼氏ナシの独り身『女性全員』に 脈があるのか？

...

そんなコトはない、ですよ？

例えば、

- ・そもそもタイプじゃない女性
- ・恋愛より他を優先している女性
- ・ただ単に男遊びが大好きな女性

etc...

世の中には
いろんなタイプの女性がいます。

今は言葉『だけ』でいいので
ガッチリ覚えておいて下さい。

この『セリフ』を
あなたの脳みそに浸透させて下さい。

原則、脈アリ女性とは
すでに感情的にあなたと付き合う準備ができている女性
のことを指します。

つまり、

感情的に準備ができていない女性は 当然『脈アリ』とは言えません

では！！

6つ目のルールです。

ルール 6：

脈アリさんだけ狙う

です。

じゃ、早速！！

あなたが女性と出会うための
具体的な『方法』を話します。

あなたが脈アリ女性と『出会う方法』は
たった3つの方法しかありません

…が。

どうしても、ね？

僕たち男性が
女性と『出会う方法』を考え始めると…

「え～、そんなの、どーせ、運任せだろ…」

「うわ～、一体、どうすりゃいいんだよ～」

「出会い、出会い、うーん、あ～、分からねえー！！」

と。

必死に脳汁を絞り出して考えても

道端の美女に無差別テロを仕掛ける ナンパ程度の方法『しか』思いつかない

モンです。

そんで、最終的に・・・

『女性と出会う方法』は分からずじまい
思考を放棄し、圧倒的な困惑だけが残る…

と。

大体、相場は決まっているモノです。

そりゃね、、、

- ・ イイ感じに発育した超カワイイ幼馴染
- ・ 職場に狙っているタイプの女性がいる
- ・ 昔付き合っていた元カノと復縁したい
- ・ 言い寄ってきているイカした美女がいる

etc…

が、

もしも、今『いる』のであれば
話は違ってくるのでしょうか…

問題は“そこ”じゃない。

最大の問題点は『ゼロ』から どうやって出会いを生み出すのか？

悩みのタネは“ここ”ですよね？

だけど・・・

いつまでも…

「出会いがないなあ…」

「どうしよう、出会いだよなあ…」

「ああ～、出会いがないなあ…」

「うーん、ナンパする？」

「いやいや、何か、他の方法…」

「出会いがないなあ…」

・・・

そんな風に。

バカな犬みてえにグルグル同じ場所を
回り続けていても何も変わりやしない

そう。

あなたが

いくら必死に悩んでも…

ステキな女性が向こうから都合良く

『ノコノコ』やって来たりしません。

ここは！！

まずは、一度、冷静になって、

あなたの『頭の中』を
キッチンと一緒に整理しましょ。

まず！！

あなたが女性と出会う方法は
たった3つしかありません。

それは、

方法1：買う

方法2：借りる

方法3：作る

この『3つ』です。

この『概念』を持っておいて下さい。

ただ単に、

1人で混乱し続けていても
話は前に進みません。

で、

もしかしたら今、あなたは…

「何だこりゃ…、商売オンナを買うってことか？」

買うとか、借りるとか、作るとか
コイツの頭、完全にイカれてやがるな…

相当、キチまってん、じゃねえか？」

「あ～、なんか、最初っから
言ってる意味が、分かりやしねえ…」

と。

そんな風に
感じたかもしれません…

が！！

安心して下さい。

1つ1つ、じっくりと・・・

あなたに伝わるように
ご説明してまいります。

では。

まず、最初！！！！

まあ、コレは・・・

僕の『偏見』かもしれませんが
少女マンガのヒロインみたいに…

『白馬に乗った王子様』が現れるのを
じっと待っていても出会いなんて無い

でしょ？

アレは・・・

当然ですが…

人が作っただけの、

- ・ 創作物
- ・ 夢物語
- ・ ファンタジー

です、からね？

要するに、

リアルの生々しい『恋愛』に
所詮、作られただけのファンタジーが
入り込む余地なんて一切ない

そう、

やっぱり！！

自分から自発的に
『女性と出会う』ために…

何かしらの行動を起こさない限りは
なかなか『彼女』は作れない、です。

もちろん・・・

ラブストーリー作品に出てくるような
運命的な出会いが絶対に『無い』とは
僕も言い切れません。

そりゃ、そうでしょ？

人生、何が起こるのか？

そんなことは、誰にも分からない。

もしも、それが分かるんだとしたら
そりゃ『神様』くらいなモンでしょ？

そう、

だけど、ここで！！

あなたに覚えてほしいことは…

その場に、じっと立ち止まって
女性との『運命的な出会い』を
淡々と待ち続けているよりも、

あなたが奮起奮闘して自発的に
出会いを『掴み取り』に行った方が
断然、彼女を作りやすい

というコトです。

要するに、

彼女が欲しけりゃ、今すぐ動け！！

で、

今、僕は、あなたに対して
高圧的な『物言い』をしています
それには“深いワケ”があります。

昔の僕は、道を曲がった先で
食パンくわえた美少女と“ごっつんこ”
そんな『運命的な出会い』があるんだ！

なんて、

心底、本気で、大マジメに、考えていましたが
今日までの人生で『そんな運命的な出会い』は
僕は1度も経験した試しがありません。

なので、

じっと運命的な出会いを待っていても
クソガキみてえに駄々をこねていても
ロクなことはない

そう。

実際に『行動』を起こしましょう。

では。

あなたが
どんな『行動』を起こせばいいのか？

脈アリ女性と出会う方法を
1つ1つ説明していきます。

まずは・・・

1つ目の方法は、

方法 1： 買う

です。

で、

『買う』と聞くと…

何やら風俗で、商売オンナを買う・・・

もしかしたら、今、あなたに、

キケンな臭いがする怪しげな印象を
植え付けてしまったかもしれません…

が！！

当然、そういう話じゃありません。

『買う』というのは…

例えば、

- ・有料の結婚相談所
- ・有料のマッチング
- ・有料の出会い系サービス

etc…

つまり、

あなたが何かしら『お金』を支払って
手っ取り早く女性と出会う方法のこと

です。

ちなみに…

『買う』という方法は、

- ・買う
- ・借りる
- ・作る

この3つの方法の中で・・・

- ・最もスピードが早い
- ・自分の努力が最小限
- ・手軽でカンタン

な、方法です。

なので・・・

もしも、今、あなたが、

オレは別に何でもイイから
とっとと『彼女』が欲しいんだ！！

「能書きは、どーでもいいから
さっさと、女と出会いたいんだ！！」

そんな風に、心でビシビシ感じている場合は
出会いを『買う』という方法がおすすめです。

なぜなら・・・

何より『楽チン』で
彼氏が欲しいと思っている女性と
いち早く出会うことができるから

です。

つまり、

『話が早い』

のです。

だって、そうでしょ？

あなたも女性も
お互いが『恋愛』目的で
最初から出会うワケです。

そりゃ、スピードが圧倒的に早いです。

ただし・・・

強いて『デメリット』を挙げるなら
それなりの費用が必要という点です。

つまり、

お金がかかる、というコトです。

もちろん・・・

- ・利用するサービス
- ・何を使うのか

で、話は変わってきますが…

一般的に結婚相談所なんて言ったら
ある程度まとまった札束が必要です。

そりゃ向こうも『商売』です。

これも当然ですが、

どの結婚相談所を利用するのか？

にも、よりますが
やっぱりお金が必要ですよね。

ですが、出会いを買えば・・・

手っ取り早くて、超絶カンタンで
自分の頭も使わず努力も最小限で
オトコに飢えている女性と出会う

ことが可能、という話です。

まず、これが
1つ目の方法です。

では、次です。

2つ目の方法は、

方法 2 : 借りる

です。

で、

ま～た、意味不明なコト抜かしやがって
使える話をしろよ、ポンコツ野郎があ！

なんて。

もしかしたら、コレを読みながら
あなたは今そんな風を感じている
かもしれませんが、

話はとっても『シンプル』です。

スゴく分かりやすい言葉で
『表現』するのであれば、

女性を『紹介』してもらう方法です。

あなたの、

- ・知り合い
- ・友達

etc…

に、女性を紹介してもらう方法です。

とは言っても・・・

僕自身は紹介で彼女を作った経験が
今日までの人生で一度もありません…

が！！

紹介は『理にかなっている』方法だと
実は、僕自身も心の中で感じています

そう。

実際、僕の周りでも
紹介でカップルになった男女が
たくさんいます。

じゃあ！！

なぜ、紹介が良い方法なのか？

その理由を話します。

ちょっと今
具体的に『イメージ』して下さいね？

例えば、

- ・昔からの友達
- ・今日知り合った赤の他人

今、この『2人』が
あなたの目の前に立っている、とします。

いいですか？

実際に今
あなたの『脳みそ』を使って
リアルに想像して下さい。

・・・

あなたと10年以上の付き合いがある
学生時代から仲がいい『友人』から…

「おい、〇〇、この本
スゴくい本だから、読んでみてよ！」

そんな風に。

あなたは、仲良しの『親友』から
本を紹介してもらって手渡しされた

そしたら・・・

全部のページを『熟読する』のか？

それは、別の話だとしても
少しは読んでみるでしょ？

「まあ、アイツからもらったし
ちょっと、読んでみようかな～」

くらいには、思いますよね？

じゃあ、ですよ。

もう1人。

例えば、

あなたが、日曜日の昼間に
近所の公園のベンチで日向ぼっこしていた…

(ああ、いい天気だなあ～)
(たまには、こんな時間もいいなあ～)

なんて。

太陽の光を全身の細胞で感じながら
休日の贅沢な『ひと時』を1人で満喫していたら…

その時！！

いきなり声をかけてきた赤の他人の
世にも奇妙な『おじさん』から…

「この本、超いい本だから、どうぞ！」

と。

ソイツから
何やら『役立つらしき本』を
いきなり紹介されて渡された。

で。

それ・・・

読みますか？

きっと読まないと思います。

僕なら、そんな得体の知れないモン
公園にゴミ箱があれば、即、捨てます。

いいですか？

たとえば、本の表紙も、本の内容も
まるっきり『同じ本』だったとしても…

- ・友達から紹介されたら読む（読む気持ちにはなる）
- ・赤の他人から紹介されたら読まない（読む気持ちにすらならない）

と、思います。

さて。

ちょっとだけ
考えてみてほしいんですが…

『友達』と『赤の他人』の何が違うのか？

そう。

あなたは何が『違う』と思いますか？

…

では！！

答えを言います。

昔から付き合いがある『友達』には
信頼がありますよね。

ですが…

今日知り合った『赤の他人』には
信頼がないですよ。

その人の『人柄』も知らなければ
『人となり』も全然、分からない。

で、

ここで。

かなり重要な『信頼の法則』を
1つだけ、あなたに紹介します。

それは、

信頼はシフトする

です。

要するに、

信頼は『移動』する

んです。

つまり、あなたに何を伝えたいのか？

「初めまして～」で出会った女性には
あなたの信頼ポイントは『0point』

ですよ？

信頼ゼロ。

なので…

出会ったばかりの女性とは『ゼロ』から コツコツ信頼関係を作っていく

必要が、ありますよね？

これは当然の話ですが・・・

目の前の女性に
あなたのことを信頼してもらう
必要がありますよね？

女性は信頼ができない妙なオトコを 当然、自分の『彼氏』にするワケがない

ですよね？

ですが・・・

紹介で出会った女性には
最初から、ある程度の信頼がある状態なので
『彼女にする』のが比較的スムーズなのです。

なぜか？

・・・

なぜなら…

○○君に紹介してもらった人だから
きっと変な男の人じゃないだろうな！

と。

女性は感じているワケです。

つまり、

あなたは、女性と出会った瞬間から
ある程度の信頼がある状態なんですね。

なぜ？

それは・・・

紹介者の信頼度が『そのままそっくり』
あなたにシフトして、移動してくるから

そう、

だから！！

僕自身も『紹介』という方法は
理にかなっている方法だと思います。

なので・・・

もしも、今、あなたの周りに
女性を紹介してくれそうな男性がいたら、

ぜひ『紹介』を頼んでみて下さい。

彼の信頼ポイントが
そのまま『あなたの信頼ポイント』になります。

すると、スタートダッシュが、圧倒的に有利…

つまり、

・他人の信頼を“借りて”、女性と出会う

という意味で『借りる』です。

では。

最後の方法です。

実は・・・

今日まで僕は、この方法で『しか』
カノジョを作った経験がありません

そして。

この方法こそが1番得意だし
個人的に1番大好きな『やり方』です。

その『方法』を今から
あなたにお話しします。

それは、

方法 3 : 作る

です。

これも、また・・・

「はあ、作るだあ？」
「テメエの説明は、クソだなあ…」

そんな風に、今あなたは心の中で
悪態を吐き捨てたかもしれません。

ですが、非常に『シンプル』です。

『作る』とは…

女性との出会いをゼロから作って 信頼を0からコツコツ作っていく方法

です。

つまり、

- ・ 出会い
- ・ 女性との信頼

この『2つ』を自分で“作る”というワケです。

では。

分かりやすい例を出します。

例えば、

あなたが、会社に入社して
その会社で女性と出会って
その女性と信頼関係を作って…

最終的に『彼女』にする。

これが『作る』ということです。

まあ、王道な『やり方』ですよ？

だけど・・・

さっきから随分、笑わせてくれるな？
…んなモン、分かってんだよ！！

「テメェ、ふざけたコト、抜かしやがって！！」

と。

そんな手厳しい意見も
きっとあると思います。

あるいは・・・

「何かしらで、女との出会いを作って…
とか、得意げに、ガタガタ抜かしてるけどよ？

オレは、その“何かしら”が、聞いてえんだよっ！！」

そんな…

あなたの正直すぎる声が
今にも画面を飛び越えて
こちらまで聞こえてきそうです…

ので！！

その『何かしら』の部分を
細かく解説していきます。

いいですか？

もうね・・・

あなたが
女性と出会うためにやるべきことは
とっても『シンプル』です！！

そう。

全部で『4ステップ』です。

では！！

まず、最初は、

Step1 :

どこに女性がいるのかを考える

です。

いいですか？

まず、落ち着いて下さい。

そして、考えて下さい。

で、

個人的な話で申し訳ないんですが
僕が『童貞』だった頃は…

「ああ～、どうしよう、どうしよう…
も～、全然、出会いなんて、ねえじゃんよ…」

と。

とにかく
彼女が欲しい気持ちだけが『暴走』して
冷静に考える余裕が1mmすら無かった…

で、結果は？

彼女が、できませんでした。

出会いも、ありませんでした。

いいですか？

せかせか『アセる』気持ちが
あなたの心の中を支配していることは
重々承知の上で、あなたに申し上げます

まず、落ち着いて下さい。

あなたが今いくら焦ったとしても
女性との出会いはやって来ません。

．．．

どうですか？

少しは、落ち着きましたか？

では。

あなたの『彼女さん』になるであろう
ステキな女性が一体どこにいるのか？



それを今から
一緒に考えていきましょう。

まず、

あなたは『2つ』考える。

それは、

- 1：あなたが好きになるような女性は一体どこにいるのか？
- 2：彼氏が欲しいと思っている女性は一体どこにいるのか？

この『2つ』です。

Step1- α :

どこに女性がいるのかを考える
(あなたが好きになる女性)

つまり、

あなたの『タイプの女性』ですよ？

ですが・・・

「貧相なパイオツじゃなくて
オレは巨乳が大好物なんだよな～！！」

「どちらかと言うと、カワイイ系よりも、美人系が好きだな！」

とか。

外見的なコトは考えるにも
考えようが無いので・・・

ごめんなさい。

僕の手には負えません。

ここで話しているのは
そういう意味ではなくて、

- ・性格的
- ・内面的

な、話です。

では！！

あなたが好きになるような女性は 一体どこにいるのか？

について、話していきます。

じゃ、とりあえず・・・

例えば、

あなたの趣味が
『テニス』だとします。

スポーツが大好きで一緒に運動を楽しめる女性
と、あなたが『付き合いたい』と思っている。

その場合であれば…

- ・ テニスのサークル
- ・ テニスのコミュニティ
- ・ テニスのイベント

etc…

当然ですが、

そういう場所にいる女性は
テニスが好きな確率が高い…

ですよ？

他にも、

スポーツジムにも、

運動好きな女性がいる
かもしれません。

そういう感じで、

- ・サークル
- ・コミュニティ
- ・スクール
- ・レッスン

etc…

もちろん、

具体的な場所などは
人それぞれで変わってくる、とは思いますが…

あなたが好きになるような女性は、

- ・どんな場所にいる確率が高いんだろう？
- ・どんなコミュニティに属しているんだろう？
- ・どこに行けば出会える確率が高いんだろう？

まずは、そういうことに
あなたの『脳みそ』を使って
実際に考えてほしいのです。

で。

1つだけ『ポイント』があります。

閉鎖的な環境であれば、あるほど

気になる女性に声がかかけやすい

と思います。

例えば、ですよ？

今、丁度、テニスのお話をしていたので
あなたの趣味が『運動』だとしますよね。

じゃ、

「運動が好きな女性は
きっと、スポーツジムにいるに違いない！」

そう考えた。

で、

実際に、あなたの足を使って
スポーツジムに出向いてみた…

けど・・・

本格的なゴツイ『マシーン』を使って
熱心に筋トレをしている女性に声をかけてみる…

うーん。

ちょっとだけ
ハードルが『高い』ですよ？

もちろん！！

オレは、ビクビク臆すること無く

女を見つけ次第ガンガン攻めれるぜ！

と言わんばかりに、

気になった女性に
声をかけることができる方は
全然、ノープログラムです。

だけど・・・

(ちょっと、いきなり声をかけるのは…)

そんな風に、

- ・抵抗感を感じてしまう
- ・ちょっと躊躇してしまう

場合は、

少しだけ閉鎖的な環境を選ぶと比較的
気になった女性に声がかかりやすいです。

例えば、ダンス好きであれば
ダンススクールに入ってみる。

毎回、同じ、レッスンの時間帯で
顔を合わせるような女性であれば
比較的、声がかかりやすいですね？

例えば、

英語が好きなのであれば
英語の教室に通ってみる。

そのスクールで、

あなたの隣の席に座った女性に
声をかけるのは比較的、簡単に
できそうですね？

そう。

あまりにも・・・

人の『行き来』が自由すぎる空間に出向いて
そこで、ナンパ形式で女性に声をかけよう！

とすると、

もしかしたら最初は
現実味がない可能性が
十分に考えられます。

なので、その場合は！！

あなた自身が比較的 女性に声をかけやすいような環境

を、選ぶようにしてみてください。

で、

他にも・・・

最近『インターネット』がありますよね？

例えば、

僕の友人で
ゲーム好きな男が1人います。

その彼は千葉県に住んでいるのですが
『オンラインゲーム上』で知り合った
広島県の女性を彼女にしました。

僕が、今、これを書いている時点で
彼が彼女と付き合っ約3~4年です。(確か)

で、

今も現在進行形で、交際が続いています。

この前・・・

その彼と一緒に食事をした時に
散々ノロケ話を聞かされました。

どうやら近々、結婚するらしいです。

ちなみに・・・

普段、僕はゲームをやらない人なので
ゲームについては詳しくないのですが...

どうやら『聞く所』によると、

最近『オンライン・ゲーム』で 女性と出会って2人の交際がスタート

する『ケース』が
案外、多いらしいです。

僕的には、あまり実感はないのですが
結構そういう話を『耳にする』ことが
ここ最近、多くなりました。

なので・・・

あなたがゲーム好きなのであれば、

実は、オンラインゲーム上にも
女性との出会いが『ある』ことを
頭の片隅に覚えておいて下さい。

で、

その後『結婚』する男女が
結構、増えているらしいです。

そう、

少し視野を広げて女性との『出会い』を
考えるようにしてみてください

コレって、要するに…

自宅の部屋に引きこもって
ゲームをやっている、

女性と出会えるってコト、ですよ？

うーん、これは、どえらい話ですね…

というのは
昔カタギな僕の個人的な感想なので
気にしないで下さい。

では。

2つ目の方法です。

Step1-β :

どこに女性がいるのかを考える
(彼氏が欲しいと思っている女性)

で、

ちょっと『乱暴』な言い方をする、のであれば・・・

男に飢えた女（彼氏を欲している）は
一体どこにいるのかな？

ということですよ。

例えば、分かりやすい例を挙げるのであれば・・・

- ・ 出会い系
- ・ マッチング

とか、ですよ？

それこそ、

スマホで『マッチング・アプリ』を
スキマ時間に、いじくり回している女性は・・・

きっと彼氏が欲しい女性、ですよ？

その確率が
かなり高い女性ですよ。

要するに、こんな具合です。

他にも、例えば、

- ・合コン
- ・街コン
- ・婚活イベント

etc…

そういった場所にいる女性は
恋愛を求めている確率が高い
ですよ？

つまり、

女性との出会いを『逆算』して オトコ探しに無我夢中なオンナを探す

まとめると、まず Step1 で
あなたの『彼女さん』になりそうな女性が
どこにいるのかを少し冷静になって考える。

で、

ここでの『ポイント』は・・・

的確に「コレだ！」というよりは
何となくの“当たりを付ける”感覚です。

こればかりは、100%は有り得ないので
とりあえずの『当たり』を、まずは付ける。

何も『無し』だと…

それこそ、

- ・運命を信じて、じっと待つ
- ・完全なる運否天賦に身を任せる

ハメに、なってしまいます。

まずは完璧主義にならず
何となくの『当たり』を
付けてみて下さい。

それができたら、

Step2 :

そこに飛び込んでみる

です。

あなたが Step1 で
大体の『当たり』を付けた。

そしたら実際に
その環境に飛び込んで下さい。

それが・・・

何かの『場所』であれば
実際に、出向いて下さい。

ネット上の何かであれば
その『サービス』なりに
まず登録してみてください。

それができたら、

Step3 :

女性を見つける

です。

その環境で
女性を探す作業です。

で、

僕たちの『人生』なんてモンは
そうそう理屈通りに事は運ばないモノ

です。

もしも、1つ目の場所で
女性が見つからない場合は
2つ目の場所に行ってみる。

2つ目がダメなら、3つ目…

と。

とにかく女性と出会えるまで
ひたすら繰り返して下さい。

そして、

あなたが好きになりそうな
女性と出会うことができたら…

最後の、

Step4 :

女性に声をかけてみる

です。

そうです。

気になる女性を目撃して
ただ遠目に眺めていても…

『彼女』はできませんよね？

もしも、気になった女性がいたら
あなたから声をかけてあげてください。

では、

ポイントを『1つ』話します。

初対面の女性に対しては 笑顔で『フレンドリー』に声をかける

です。

確かに、ね？

しょっぱな、1番最初に…

お堅い『ご挨拶』を交わすのも 礼儀正しくていいのかもしれませんが…

が。

個人的には、オススメしません。

(※当然ですが、時と場合にもよります。)

例えば、

「初めまして、僕は〇〇と申します……」

とか、ね？

別に、いいんですけど……

それだと、当然ですが。

相手の女性の方も ガッチガチに『お堅く』なりますよね？

「あっ、初めまして、えっと、私は…」

なんて、女性も始まるワケです。

お見事なまでに、目には見えない ココロの壁が『ドーンッ』と立ち塞がる

それよりも！！

例えば、

「どうも、今日は暑いですね～！！」

「あっ、初めまして…ですよっねっ？」

そんな風に、

あなたの目の前にいる女性が
ヘンに『警戒』しなくて済むような…

- ・表情
- ・声のトーン
- ・姿勢

etc…

を、心がけて下さい。

つまり！！

あなたが話す『セリフ』よりも
あなたの『雰囲気』を大切にして下さい。

すると・・・

女性に変な気を使わずに済みます。

それに何より、

相手の女性も、あなたに対して
フレンドリーに接してくれます。

そう、

あなたが『先に』お堅い挨拶をすれば
女性も、お堅い挨拶を返してきます。

あなたが『先に』笑顔で声をかければ
女性も、笑顔で言葉を返してくれます。

ポイントは『先に』です。

何事も『先出し』が原則です。

で、

コレは、かなり大事な話なので
また後で詳しくお伝えします。

なので、安心して下さい。

とりあえず！！

もしも今・・・

あなたが
女性との出会いで悩んでいる
のであれば、

今の『4ステップ』を
実践してみてください。

そう。

私たちの人生で1番『ムダな時間』は
チマチマ、ネチネチ悩んでいる時間です

前には行かない…けど、後ろには行っている可能性はある…。

そもそも、

悩んでいる時間があるのであれば
『今のあなたが思いつく方法』を
とりあえず試してみる。

それこそ、

もしも時間が無駄になったら嫌だな…

と。

そんなことを『グルグル』考え始めたら
何も身動きができなくなってしまいます。

で、

コレに関しては、

僕自身も、いつも自分に対して
強く、強く、言い聞かせています。

どうしても・・・

何かにチャレンジする『前』って…

- ・最短最速でやりたい
- ・効率良く進めたい
- ・時間をムダにしたくない

etc…

なんて考え始めて、

よくよく振り返ってみたら
足踏みしていたこと自体がムダな時間

で、最終的には・・・

こんなことだったら何でもイイから
行動しとけば良かったなあ…

なんて。

本当に、よくある失態です。

で、ね？

僕が1番、それを心に
ヒリヒリ感じているのは、

『英語』

です。

まあ、お恥ずかしい話ですが…

僕は学生時代
ロクに勉強してきませんでした。

だったら！！

『国語・数学・英語・理科・社会』
5教科を全部、まんべんなく勉強しましょう！！

なんて、

学校教員連中の話は『ガン無視』して…

英語だけでも
真剣に勉強しておけば良かったなあ。。

そうすりゃ今頃
英語がペラペラになってた、だろうな…

と、思うワケです。

…

っていうか。

そもそも論として！！

今のあなたが
できることをやればいい。

所詮、僕たち人間なんて
自分のできること『しか』できない

です、よね？

いくら必死に背伸びしようが
今できないコトは、できないモンです

もちろんですが
『チャレンジする』ことは、大切ですよ？

だけど、

自分にできないことを
無理してやろうと思っても
結局、できないものです。

それに・・・

完璧にやる必要なんて一切ない

そう、僕は思っています。

そして、

今のあなたより

1mmでも良くなることをやれば

それは『かなりイイ』こと



どうしても僕たちは
何か人生で『上手くいかないこと』があると
自分を必要以上に責め立ててしまいがち、です。

ですが。

そんな時は・・・

できなかった部分に目を向けるのではなく
『できた部分』に目を向けてみて下さい。

分かりやすい例を挙げるのであれば・・・

テストで『15点』だった。

なら！！

周りの連中が、何を言おうと！！

オレは 15 点取れたんだ、えらいぞ
じゃ、残りの 85 点も頑張っていこう

今よりも、少しだけ、

あなた自身を『褒めて』あげて下さい。

では・・・

今回は『出会い』をテーマに
お話しをさせて頂きました。

女性との出会い。

あなたは『出会い』と聞いて
どんなイメージを連想しますか？

・・・

彼女ができない苦痛に悩んでいた
童貞時代の僕は、

「女性との出会いは難しいなあ…」

そんな風に、ずっと難しく考えていました。

ですが。

出会いは、難しくありません。

そもそも、ね？

女性との出会いはなんてモンは
そこら中にゴロゴロ転がっているもの

です。

要するに。

- ・ 出会いを素通りしてしまうのか？
- ・ それとも出会いを掴み取るのか？

それは、あなた次第です。

ぜひ、

あなたは『出会い』のアンテナを
ピンピンに張り巡らせておいて下さい。

必ず、引っかかるタイミングが来ます。

そして、アンテナを張り巡らせながら
女性と出会える行動も起こして下さい。

もしかしたら最初は
上手いかわからないかもしれない。

でも、いいんです。

僕だって・・・

何度も、何度も、何度も、何度も、何度も…

今となっては数え切れないほど
恥ずかしい『失敗』を繰り返してきました。

きっと・・・

僕のイカれた失態の数々を知ったら
あなたは「バカだなあ」と大爆笑する

と思います

それこそ、

「ああ～、声、かけられなかった…」
「なんか、変な感じになっちゃったよ…」

とか。

僕は、今、あなたに対して、

何やら上から目線で偉そうに
恋ってヤツを、ベラベラ語っていますが…

そんな僕でさえ、今日まで
散々な目に遭ってきました。

人様には、口が裂けても言えないへマを 何度も繰り返してきました

ですが。

一度『失敗』すると
2回目は前よりも上達しているもの。

まあ、そうは言っても・・・

「オレは、1番最初から、100%完璧にして
気になった女に出会って、付き合いてえんだ！！」

と。

もしかしたら今、そんな風に
あなたは感じたかもしれません。

僕も、その気持ちは分かります。

そして、

昔の僕も
同じように思っていました。

ですが『無理』です。

最初から全部を上手くデキる奴なんて この世に1人もいません

少なくとも僕は
そう思っています。

そして・・・

あなたが1番最初から
上手くやろうとすれば、するほど…

自分が犯す『ちっぽけなミス』さえ どんどん許せなくなっていくます

すると、どうなるのか？

・・・

身動きが、できなくなる。

そして、

より完璧を目指す『体質』になって
失敗しないように考え始めてしまう。

そう。

それじゃ『悪循環』ですよ？

そもそも！！

別に、失敗は悪いコトじゃありません。

もっと突っ込んで言うなら…

実は・・・

あなたが、

ちょっとだけ『しくじる』くらいの方が
相手の女性が親しみを持ってくれる

のです。

そう。

逆の立場で考えると
分かりやすいんですが…

いわゆる『完璧な女』って、ハードルが高いですよね？

(俺が、○○ちゃんに、声かけていいのかな…?)

反射神経のスピードで
そう感じてしまいますよね？

まあ、だから、かえって…

ハードルが高い高嶺の花を狙った方が
案外、恋がスムーズに進んだりする

という話もあります。

理由は『シンプル』です。

雲の上の存在に感じる絶世の美女には
誰も『手出し』しよう、なんて最初から考えないから。

で、

話を戻しますが…

ちょっと『ミスする』くらいが丁度いい。

なぜなら・・・

あなたが『完璧』であればあるほど
女性側も少し身を引いてしまうから。

本質的なコトを言うのであれば・・・

ここまでの内容で
僕は一貫して、あなたに、

『女性への共感が大切だ』

と、何度も言ってますが・・・

その『共感』ができないんです。

女性だって

真っ赤な血が通った生身の人間なので 完ペキなんかじゃありません

なので・・・

『背伸び』『強がり』も
それは、それで大いに結構なのですが、

少し肩の力を抜いて、リラックスして
あなたができる範囲のチャレンジから
1つ1つ行動を起こしてみてください。

あなたは必ず
素敵女性と出会うことができます。

今すぐに！！

女性と出会うチャレンジを
あなたは起こし始めて下さい。

そして。

素敵な『恋愛』を
スタートさせて下さい。

バカに感じるような試行錯誤も含めて
恋の醍醐味（だいがみ）なのです。

それに・・・

過去の失敗談は、

将来。

あなたの『彼女さん』と
2人で笑うことができる…

『爆笑ネタ』に変わりますからね。